

広域医療搬送目標患者数(予知型・突発型)

表2-3 予知型における広域医療搬送目標患者数

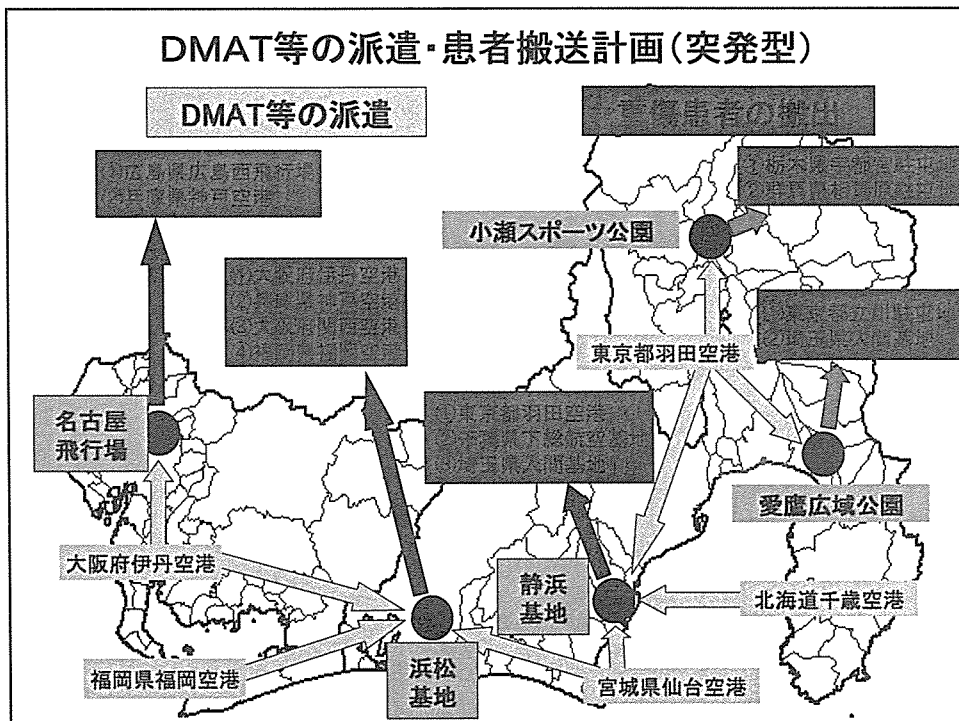
被災県	許容時間	胸腹部外傷	頭部外傷	クラッシュ症候群	広範囲熱傷	計
山梨県	3～8時間	2	1	3	0	6
	8～24時間	3	1	14	1	19
	24～72時間	0	0	8	0	8
	計	5	2	25	1	33
静岡県	3～8時間	34	11	56	0	101
	8～24時間	56	22	225	20	323
	24～72時間	0	0	135	0	135
	計	90	33	416	20	559
愛知県	3～8時間	2	1	3	0	6
	8～24時間	3	1	14	5	23
	24～72時間	0	0	8	0	8
	計	5	2	25	5	37
上記の計	3～8時間	38	13	62	0	113
	8～24時間	62	24	253	26	365
	24～72時間	0	0	151	0	151
	計	100	37	466	26	629

○突発型の患者搬送は8時間以降から開始される見込み

広域医療搬送に関わるDMATの 参集拠点

- 千歳空港
- 仙台空港(夜間は松島基地)
- 羽田空港
- 伊丹空港
- 福岡空港

DMAT等の派遣・患者搬送計画(突発型)



広域医療搬送対象患者の搬送(突発型)

表2-12 被災地内広域搬送拠点別の広域搬送先と搬送目標患者数

被災地内広域搬送拠点	患者搬送先 被災地外広域搬送拠点	搬送手段	広域搬送目標患者数			
			8~24時間	24~72時間	計	
静岡県	浜松基地	① 伊丹空港	固定翼輸送機 ※	62	64	216
		② 神戸空港	固定翼輸送機 ※	31		
		③ 関西空港	固定翼輸送機 ※	21		
		④ 福岡空港	固定翼輸送機 ※	38		
	静岡基地	① 羽田空港	固定翼輸送機 ※	75	53	
		② 下総基地	固定翼輸送機 ※	33		
		③ 入間基地	固定翼輸送機 ※	22		
	愛鷹広域公園	① 立川駐屯地	大型回転翼機	41	18	
		② 入間基地	大型回転翼機			
	愛知県 (小牧基地)	① 広島西飛行場	固定翼輸送機 ※	23	8	
② 神戸空港		固定翼輸送機 ※				
山梨県 小瀬スポーツ公園	① 宇都宮駐屯地	大型回転翼機	12	8		
	② 相馬原駐屯地	大型回転翼機	7			
計				365	151	516
必要航空機数			固定翼輸送機 ※	36	14	
			大型回転翼機	8	3	

※固定翼輸送機による輸送を基本とするが、必要により、大型回転翼機を使用する。

注1 広域搬送に使用する航空機は、1日あたり広域搬送拠点を1機2往復もしくは3往復できるものとし、1機2.5往復で算定した。(3~8時間については、広域搬送に約2時間しか確保できないため1機1往復で算定し、残り1.5往復は8~24時間で実施するとして算定)

注2 8~24時間の必要航空機は、3~8時間から引き続き使用する航空機を含む。

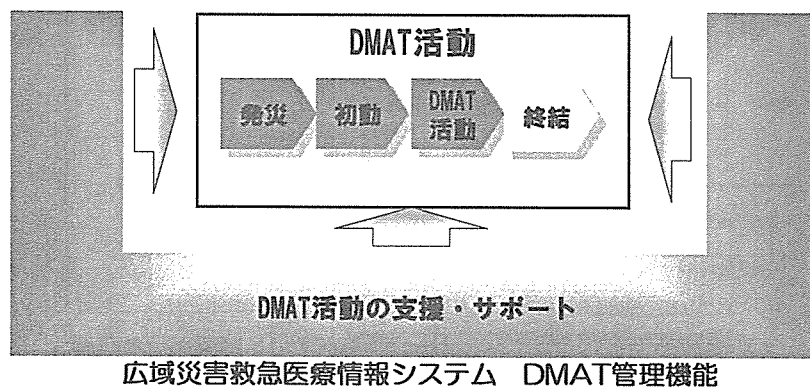
注3 固定翼輸送機及び大型回転翼機は、1機あたり最大4名の患者を搬送する。

注4 患者搬送先拠点は、状況により他の基地・空港等に変換することがある。

広域災害救急医療情報システム（EMIS） DMAT管理機能

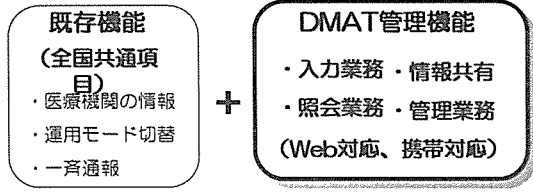
目的

DMATの体制整備にあたり、DMATの状況管理、情報共有、指定医療機関・登録者の情報管理を実現するため、現在の広域災害救急医療情報システムに機能を追加する。



システム方式

厚生労働省 広域災害救急医療情報システム(EMIS)

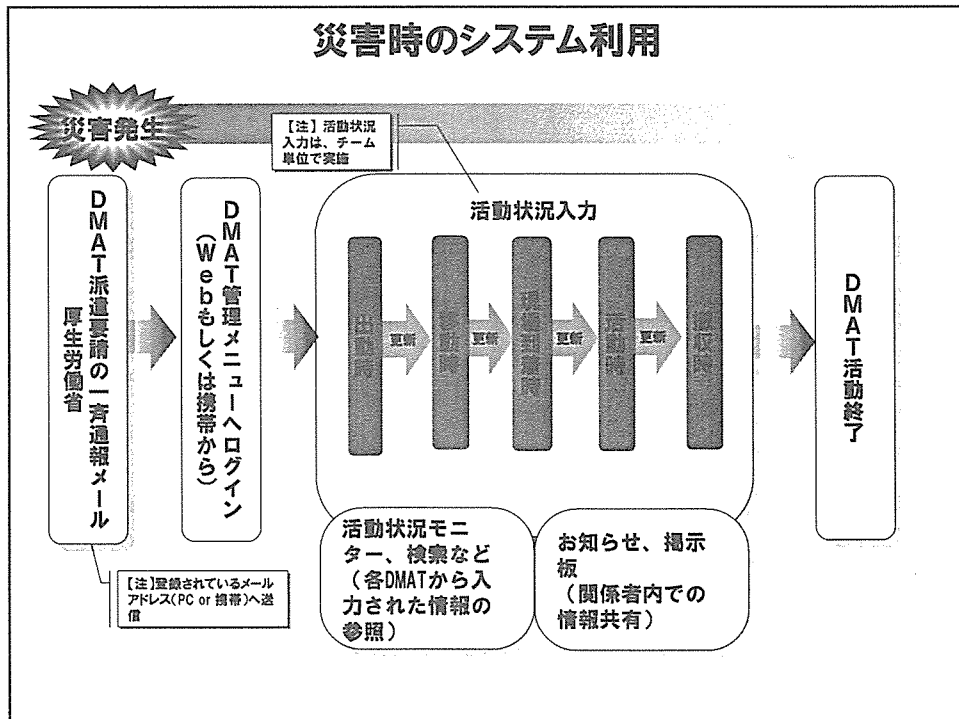


広域災害救急医療情報システム(EMIS) TOPページ
<http://www.wds.emis.or.jp>
 DMAT管理メニュー
<http://www.dmat.emis.or.jp>
 DMAT管理メニュー(携帯)
<http://www.dmat.emis.or.jp/kt/>

※ログインID(機関コード、パスワード)は、従来の広域災害救急医療情報システム(EMIS)と同一。

DMAT管理メニューのお問合せ先 dmat-info@wds.emis.or.jp

災害時のシステム利用



活動状況入力画面

WEB版

DMAT管理

活動状況入力(入力)

都道府県: 北海道
医療機関名: チーム医療機関
DMATチーム名: DMATチーム1
最新更新日時: 2006/09/17 10:04

※被災都道府県、災害種別、派遣可否については、必ず選択し、入力してください。

被災都道府県: 北海道
災害種別: 地震
派遣可否: 派遣可
活動状況: 活動中
活動種別: 院内搬送
現在地: 院内搬送
その他: 院内搬送

被災地域までの移動手続

No	出発地	経路	時間
1	札幌	列車	18:50 発
1	札幌	列車	19:50 着
1	札幌	列車	22:00 着
1	札幌	列車	19:50 着

入力

携帯版

活動状況入力

チーム名: DMATチーム2
更新日時: 08/09 18:10

▼現在情報の入力

【被災都道府県】
東京都
【災害種別】
地震
【派遣可否】
派遣可
【活動状況】
活動中
【活動種別】
院内搬送
【現在地】
羽田空港付近
【その他】
訓練中

次へ

活動状況入力

チーム名: DMATチーム2
更新日時: 08/10 10:02

▼移動手段の入力

【出発地】
時間: 18:50 発
場所: 札幌駅
【経路】
列車
時間: 19:50 着
場所: 新千歳空港
【経路】
航空機(自衛隊)
時間: 22:00 着
場所: 羽田空港
【経路】
時間: 着
場所: 予定
入力

活動状況モニター画面

活動状況表示

表示日時: 2006/09/09 16:35

選択都道府県: 北海道 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県

自動更新間隔: 10分
自動更新実行

▼現在情報

No	医療機関名	チーム名	活動状況	活動種別	更新日時
1	チホ1 五稜病院	DMATチーム1	活動中	院内搬送	2006/09/09 15:05
2	チホ1 五稜病院	DMATチーム2	活動中	院内搬送	2006/09/09 15:16
3	チホ1 五稜病院	DMATチーム3	待機完了	—	2006/09/09 15:24
4	チホ1 五稜病院	DMATチーム4	活動中	現場活動	2006/09/09 15:25
5	チホ1 五稜病院	DMATチーム5	移動中	—	2006/09/09 15:37
6	チホ1 五稜病院	DMATチーム7	搬送中	—	2006/09/09 15:58
7	チホ1 五稜病院	DMATチーム8	準備中	—	2006/09/09 15:58
8	チホ1 五稜病院	DMATチーム9	搬送中	—	2006/09/09 16:00
9	チホ1 五稜病院	DMATチーム10	活動中	院内搬送	2006/09/09 16:12

▼過去情報

No	医療機関名	チーム名	活動状況	活動種別	更新日時
1	チホ1 五稜病院	DMATチーム1	活動中	院内搬送	2006/09/09 15:05

▼過去情報

No	医療機関名	チーム名	活動状況	活動種別	更新日時
1	チホ1 五稜病院	DMATチーム1	移動中	—	2006/09/09 15:37
2	チホ1 五稜病院	DMATチーム1	活動中	院内搬送	2006/09/09 15:06
3	チホ1 五稜病院	DMATチーム1	待機完了	—	2006/09/09 15:16

画面

▼更新日時をクリックすると、詳細画面が表示されます。

現在情報

都道府県: 北海道
医療機関名: チーム医療機関
DMATチーム名: DMATチーム7
最新更新日時: 2006/09/09 16:28

被災都道府県: 北海道
災害種別: 地震
派遣可否: 派遣可
活動状況: 搬送中
活動種別: 院内搬送
現在地: 搬送完了

被災地域までの移動手続

No	経路/移動手段	時間	予定/済
出発地	チホ1 五稜病院	09:30 発	済
1	↑ 自動車		
1	↑ △空港	08:30 着	済
1	↑ 航空機(自衛隊)		
1	↑ ×空港	11:00 着	済
1	↑ 航空機(自衛隊)		
1	↑ ○空港	16:20 着	済
1	↑ 自動車		
1	チホ1 医療機関	17:20 着	済

平時のシステム利用

【DMAT登録者管理】

- ・DMAT登録者（連絡先電話番号、メールアドレスなど）の情報に変更があった場合、情報を更新できる。

【チーム管理】

- ・DMATチームの構成員に変更があった場合、チーム情報を更新できる。

※詳細は「操作説明書(DMAT登録者管理、チーム管理)」をご参照願います。
※操作説明書は、DMAT管理メニューからダウンロードできるようになっております。

DMAT登録者管理画面

DMAT登録者管理 - DMAT運用情報システム - Microsoft Internet Explorer

都道府県: 東京都
医療機関名: 災害医療センター

※編集できない箇所にて変更がある場合は、変更依頼ファイルをダウンロード後、ご記入のうえ、問合せメールへ送付ください。
※変更依頼ファイルダウンロードはこちら。

DMAT登録者基本情報	
氏名	災害太郎
生年月日	1970年 01月 01日
性別	男性
DMAT指定医療機関名	災害医療センター
住所	東京都 〇〇町
連絡先電話番号	000-0000-0000 記入例:0000-0000-0000
携帯電話番号	000-0000-0000 記入例:0000-0000-0000
携帯電話メールアドレス	1234abc@docomo.ne.jp ※別途登録時の連絡先に利用します。
その他メールアドレス	1234abc@123456.ne.jp ※別途登録時の連絡先に利用します。

更新できない項目については、様式をダウンロードし、変更内容を記入後、問合せメール (dmat-info@wds.emis.or.jp) へ送付願います。

メンバー情報	
DMAT登録番号	9999999999
登録日	2006年 08月 01日
登録カテゴリ	医師
職種	
統括DMATの認定	無
NBC予日研修	未
派遣実績	0
有効期限	2011年 08月

登録データに変更があれば、各自更新願います。

DMAT管理メニュー操作訓練実績

- 7月 都道府県を対象にDMAT管理メニュー仮運用開始について、説明会を開催
- 8月 DMAT管理メニューの仮運用開始
- 9月 9月1日の防災訓練にて実動訓練参加DMATチームを中心とした情報入力訓練実施
- 9月～
日本DMAT隊員養成研修の中で、広域災害救急医療情報システム DMAT管理メニューの操作訓練を実施

	災害医療センター		兵庫県災害医療センター	
9月	第16回	訓練実施済み	第1回	訓練実施済み
10月	第17回	訓練実施済み	第2回	訓練実施済み
11月	第18回	訓練実施済み	第3回	訓練実施済み
12月			第4回	訓練実施済み
1月	第19回	訓練実施済み	第5回	予定
2月	第20回	予定	第6回	予定
3月	第21回	予定		

9/1訓練におけるDMAT管理機能訓練の目的

◆経緯

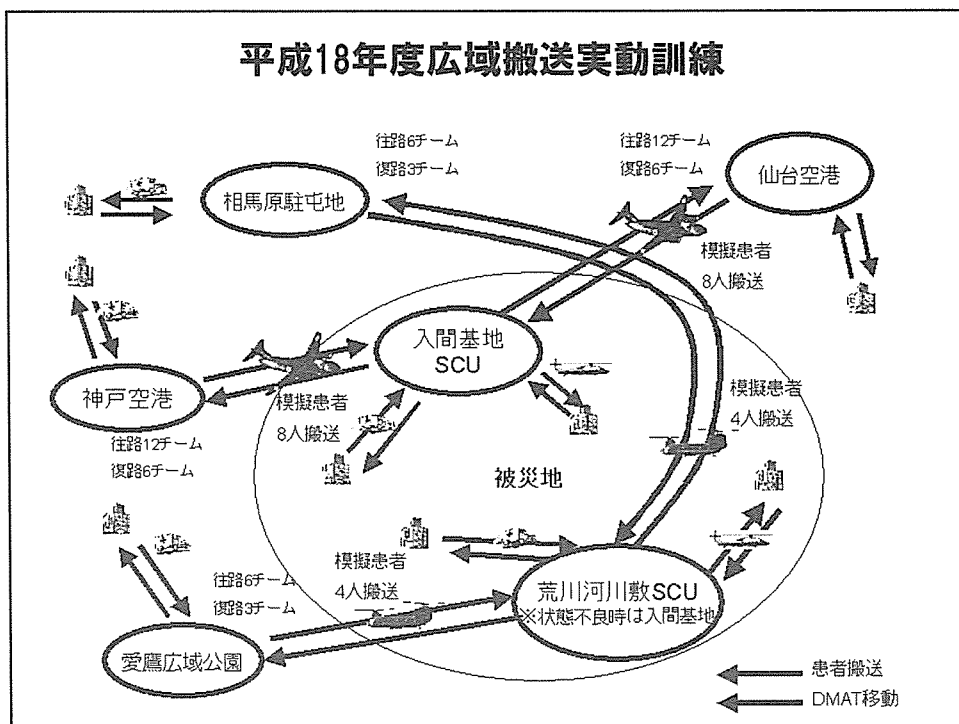
DMATの体制整備にあたり、DMATの状況管理、情報共有、指定医療機関・登録者の情報管理が必要となった。

このため、すでに運用中である広域災害救急医療情報システム（EMIS）にDMAT管理機能を追加し、8月1日に仮運用を開始した。（本運用は平成19年4月）

◆9月1日訓練の目的

仮運用した広域災害・救急医療情報システム（DMAT管理）の運用および操作の確認、DMAT活動状況入力の習熟を目的として実施

平成18年度広域搬送実動訓練



訓練内容

1. 情報伝達

厚生労働省より、都道府県、日本DMAT隊員養成研修受講医療機関および隊員のPC、携帯メールアドレスに対して一斉通報メールを送信

対象

対象	送信件数
都道府県、日本DMAT隊員養成研修受講医療機関および隊員	1, 235件 (メールアドレス数)

時間

送信時間	送信件名	送信文書
7:20	【訓練】DMAT待機要請について	災害(訓練)が発生しました。以下ページへアクセスし、「お知らせ」にて詳細をご確認下さい。
7:30	【訓練】DMAT派遣要請について	携帯からのアクセスは、 http://www.dmat.emis.or.jp/kt/
8:00	【訓練】DMAT活動について	パソコンからのアクセスは、 http://www.dmat.emis.or.jp/

訓練結果

1. 情報伝達

送信結果

対象	送信件数	
都道府県、日本DMAT隊員養成研修受講医療機関および隊員	1,235件 (メールアドレス数)	78件(6.3%)

送信時間(全件): 3分34秒

【送信エラーの原因と思われるもの】

- ・登録されているメールアドレスが間違っていた。
- ・携帯メールアドレスでは、携帯のメール設定が拒否設定になっていた。
(送信元メールアドレスからの受信を許可していなかった)

訓練内容

2. 情報入力

DMATチームは、厚生労働省からの一斉通報メール受信後、活動状況の情報をシステムに入力

対象と内容

対象	情報入力
日本DMAT隊員養成研修受講医療機関 (150チーム)	活動状況が「待機完了」までを入力
上記のうち実動訓練参加チーム (37チーム)	各ロケーションにおける訓練活動終了まで活動状況を随時入力

都道府県は、管下のDMAT機関の活動状況入力の状況を確認し、未入力・未更新の場合は、入力を要請、もしくは、代行入力を実施

※日本DMAT隊員養成研修受講医療機関のチーム数は、9月1日時点の情報です

訓練結果

2. 情報入力

結果

対象 20	情報入力	
日本DMAT隊員養成研修受講医療機関（チーム） （150チーム）	活動状況が「待機完了」までを入力	84% （128チーム）
上記のうち実動訓練参加チーム （37チーム）	各ロケーションにおける訓練活動終了まで活動状況を随時入力	100%

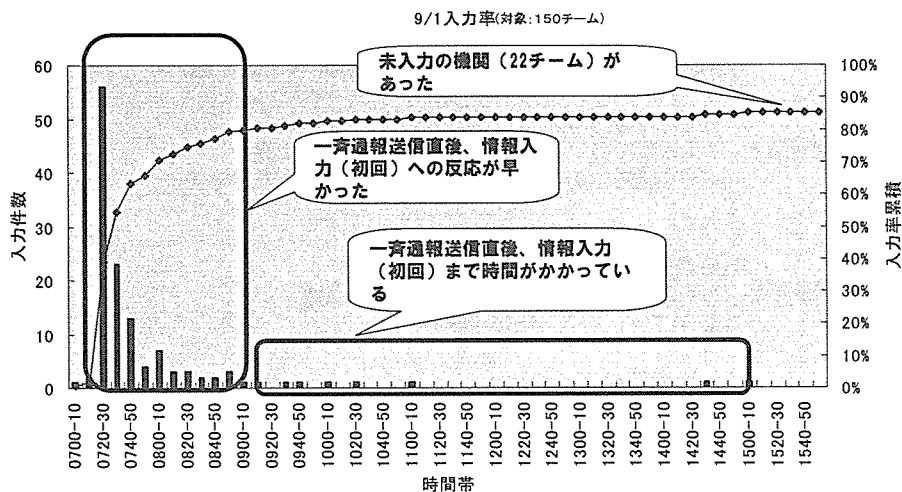
情報入力率：

- ・1回以上、活動状況を入力しているDMATチーム/150（全チーム数）
- ・当日16:00時点の数値

訓練結果

2. 情報入力

全チームの入力率 推移



課題と今後の改善策

【課題1】

一斉通報メールの送信エラー

【原因】

- ・登録されているメールアドレスが間違っていた。
 - ・メールアドレスの初期登録データの間違い
 - ・メールアドレスが未更新
- ・携帯メールアドレスでは、携帯のメール設定が拒否設定になっていた。
(送信元メールアドレスからの受信を許可していなかった)

【対策】

- DMAT事務局と連携して登録情報の確認を実施
- ・各医療機関にメールアドレスの確認・修正を依頼
- ・携帯の設定状況の再確認の周知徹底

課題と今後の改善策

【課題2】

- ・未入力の間隔(22チーム)があった。
- ・一斉通報送信直後、情報入力(初回)まで時間がかかっている。

【想定される主な原因】

- [機能面] {
 - ・ログインID、パスワードを忘れた、もしくは不明のため、入力できなかった。
 - ・携帯からの情報入力の際、ログイン操作の利便性が悪い。
- [運用面] {
 - ・情報入力のタイミングや操作方法が分からない。
 - ・DMAT運用について、医療機関の理解が不十分。
 - ・医療機関内での情報共有が十分なされていない。

【対策】

- [機能面] {
 - DMAT事務局と連携して実施
 - ・日本DMAT隊員養成研修での入力操作訓練
 - ・ID、パスワードの再確認の周知等
- [運用面] {
 - システムの機能改善を検討
 - ・携帯でのログイン方式の見直し
 - ・入力画面、モニター画面の利便性向上など、ユーザインターフェイス部分の改善

11/7 北海道竜巻災害 DMAT管理 厚生労働省からの「お知らせ」掲載内容

時刻	内容
15:44	道内のDMATに、EMISを使い待機要請を出す。
16:45～	近隣のDMAT2チームの自主的判断による災害現場への出発を確認 日鋼記念病院<16:45 出発> 旭川医科大学<17:50 出発>
19:20頃	北海道庁より、以下の報告を受ける。 『18:40 に現地対策本部から、「瓦礫の搜索を行い、他に負傷者がいないことを確認した。」との発表があった。』
19:30頃	現地に向けて移動中の日鋼記念病院DMATに電話連絡し上記状況を説明 同DMATは、引き返すことを決定
20:00頃	現地に直近の救命救急センター設置病院北見赤十字病院に電話連絡 「現在、特に混乱無く、人員も足りている。」との情報を得た。
20:00頃	現地に向けて移動中の旭川医科大学病院DMATに電話連絡、上記状況を説明、同DMATは、引き返すことを決定
20:20頃	道内のDMATへの待機要請を解除

11/7 北海道竜巻災害 DMAT管理 日鋼記念病院の当日の入力履歴

DMAT管理

入力履歴

入力履歴一覧

期間: 2006年11月07日 ~ 2006年11月30日
災害種別: 風水害
都道府県: 北海道
医療機関: 日鋼記念病院

No	チーム名	更新日時	災害種別	派遣可否	活動状況
1	DMATチーム1	2006/11/07 09:50	風水害	派遣可	到着
2	DMATチーム1	2006/11/07 17:30	風水害	派遣可	移動中
3	DMATチーム1	2006/11/07 17:30	風水害	派遣可	移動中

入力履歴(詳細)

都道府県: 北海道
医療機関: 日鋼記念病院
チーム名: DMATチーム1
更新日時: 2006/11/07 17:30

現在情報

被災都道府県: 北海道
災害種別: 風水害
派遣可否: 派遣可
活動状況: 移動中
活動種別: 移動中
現在地: 苫小牧市
備考:

災害現場までの移動手段

出発地	経路/移動手段	時間	予定/済
出発地	◆ 苫小牧	16:20	済
	1 自動車		
経路	◆ 旭川	19:00	予定
	1 自動車		
経路	◆ 佐呂間	22:00	予定

Copyright © 2006 厚生労働省(Ministry of Health, Labour and Welfare) All Right reserved.
お問い合わせはdmatinfo@hokkaido.go.jpまで

DMAT通報訓練-計画

- 日時:平成19年2月7日 午前10時～
- 対象
 - 日本DMAT隊員養成研修受講医療機関
- 内容
 - 厚生労働省から都道府県、各医療機関にDMATの待機、派遣要請についての連絡
 - 連絡内容に応じて、各医療機関での対応を適宜EMISに入力
 - 参集拠点までの経路を入力した時点で終了
 - 机上における通報訓練(実働訓練は行わない)

DMATの課題

- 研修の確立
- 運用指針の策定
- 連絡体制の確立
- 局所型災害への対応(地域DMATの確立)
- 活動を支えるロジスティックの確立
- 継続的な教育・訓練を行うシステムの検討
- その他

医療機器の電磁適合性確認試験

医療機器の電磁適合性確認試験結果について

18. 10. 5

防衛庁 航空幕僚監部

1 趣旨

平成18年度防災の日(9月1日)における、輸送用航空機(C-1)内で医療機器を使用する訓練に先立ち、医療機器と搭載通信電子機器等との電磁適合性を確認するため、航空自衛隊航空開発実験集団が実施した、電磁適合性確認試験の結果報告を公表するものである。

2 試験の概要

(1) 実施担当

- ア 航空開発実験集団(主担当)
- イ 航空支援集団(支援)

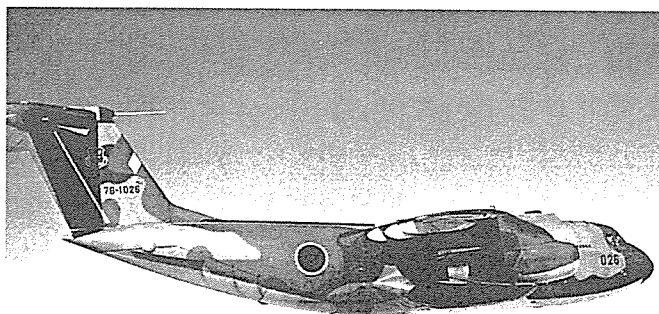
(2) 試験実施日

平成18年8月28日(月)

(3) 場所

入間基地及び同周辺空域、

(4) 使用航空機



JASDF
航空支援集団

C-1輸送機

(5) 試験実施要領

航空機を地上運転及び運航中に機内で医療機器を使用し、医療機器と航空機搭載通信電子機器等双方への影響を確認した。

(6) 対象医療機器(機内配置状況は図のとおり。)

ア 簡易心電図モニター (プロパック200)	8台
(WEC6003)	8台
(BSM2301)	8台
イ 輸液ポンプ	(テルモTE161S) 8台
ウ 携帯用除細動器	(ハートスタートFR2) 2台

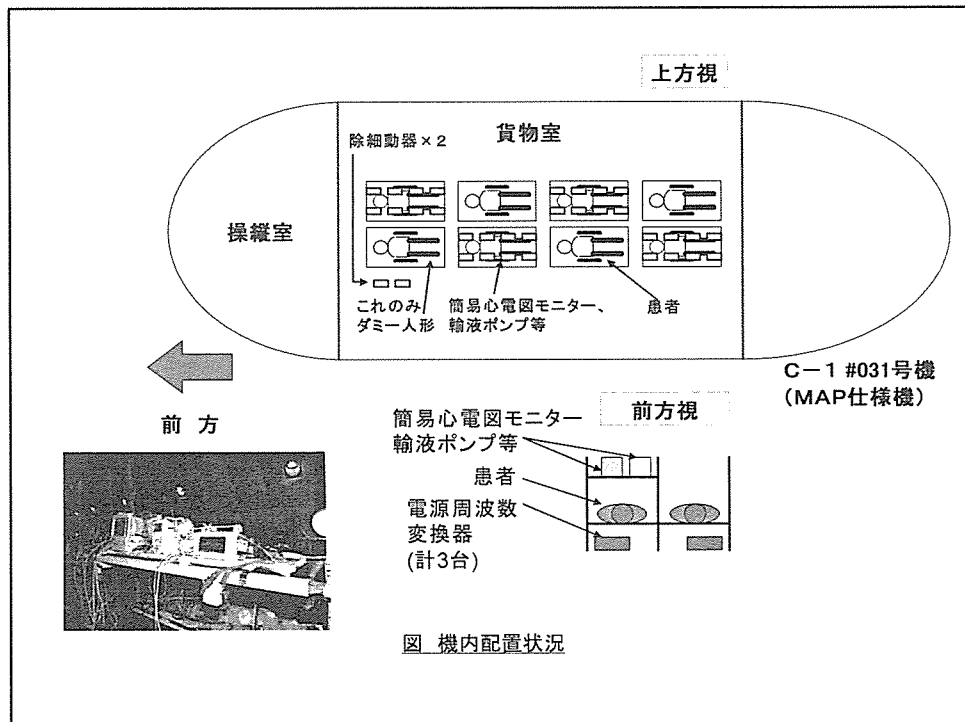


図 機内配置状況



機内試験(地上)

3 試験結果

当該試験を実施したところ、航空機搭載通信電子機器について、動作中に異状は認められなかった。

医療機器については、一部のモニター装置の動作中にノイズ等が認められたが、患者の監視活動に影響する程度のものではなかった。

今後、今回の試験と同じ医療機器を同じ機内配置において運用する場合には、飛行運用に支障はないと考える。

**DISASTER
MEDICAL
ASSISTANCE
TEAM**